**公開研修会　災害時・非常時における支援者の役割と有効な支援とは**

**主催 日本臨床発達心理士会・千葉支部**

３月１１日に発生した東日本大震災は東北地方を中心に多くの尊い生命を奪い、広い地域にわたっていまだに生活を脅かし、千葉県においても大きな被害を及ぼしています。

私たちは、家庭、組織、地域を越えた協力と支援によってこの事態を乗り越えていかなければなりません。「人の健やかな育ちを支援する専門家」の団体として、日本臨床発達心理士会では震災の直後から支援の活動を行ってきています。

災害時・非常時におけるトラウマ・ＰＴＳＤなど、「心のＳＯＳ」をだしている子どもや大人を支援者はどう理解し支援を進めればよいのか。果たすべき役割、支援の具体的な方法とは。この分野の研究の第一人者・前川あさ美氏(東京女子大学)の講演を中心に研修をすすめ、今後の多方面での支援に生かしていく機会としたいと考えます。

会員でない方でもどなたでも参加できます。特別支援に関わっている方やご家族の方など多くの皆さんの参加をお待ちしています。

１０月２３日(日) １３：３０～１６：３０ 受付開始 １３：００

千葉大学西千葉ｷｬﾝﾊﾟｽ 教育学部大会議室

ＪＲ西千葉駅より徒歩８分、京成みどり台駅より徒歩７分。

正門よりお入りください。学内への車の乗り入れはできませんのでご注意ください。

資料代１０００円（当日会場でお願いします）

講演

「災害時・非常時における支援者の役割と有効な支援について」

前川あさ美 (東京女子大学現代教養学部人間科学科 教授)

東日本大震災・日本臨床発達心理士会の支援活動について

千葉県内の被災地における支援の状況について

千葉支部より

参加申し込み 下記事務局まで、Ｅメール、ファックス、葉書のいずれかでお申し込みください。

＊１０月１０日までに申し込んでください。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

「臨床発達心理士」は、日本発達心理学会など４つの学会の連合の資格として２００２年に発足しました。発達心理学をベースに“発達的観点”を持つことを特徴とし、人の健やかな育ちを支援する専門家として保育、教育、福祉、研究などの場で活動しています。